

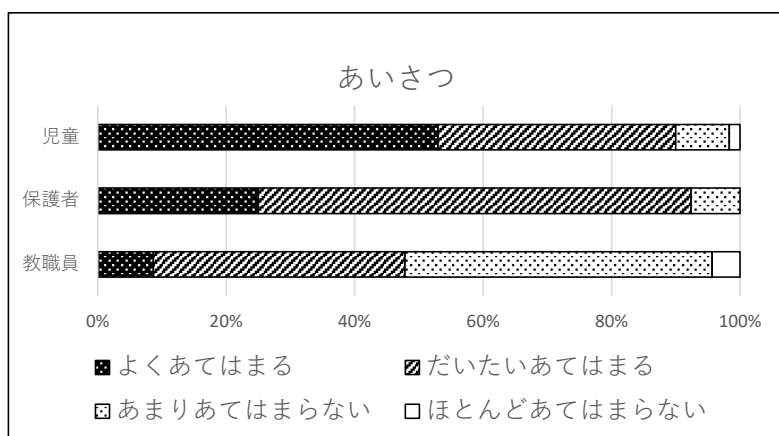
## 令和5年度 学校評価アンケート結果と考察

これは、子どもたち、保護者の皆様、そして、教職員に、それぞれ同じ内容の項目でアンケート調査をしたものを、比較したグラフになります。そして、その結果について、考察をしました。

それぞれの立場で、状況の違いやとらえ方の違いが見られます。でも、それは当然のことですし、逆に、ほぼ同じようなとらえ方をしているところも、当然見られます。

学校は、子どもたちの健やかな成長を目指しています。そして、同じようにご家庭でも、お子さんの健やかな成長を目指しています。その同じ目的の学校と家庭が、子どもたちの実態にどう関わり、どんな成果が見られ、どこに課題があるのか、そういう全体像が見えてくればと思います。ご覧になられ、一緒に考えていただければ幸いです。

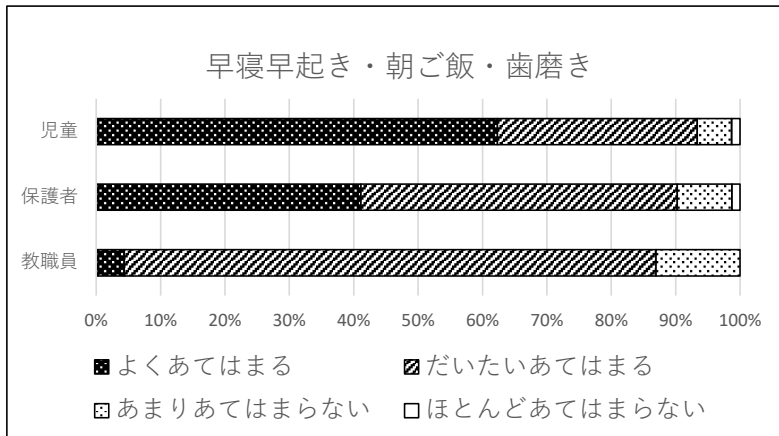
校長 佐藤康二



【先生や友達、地域の方に元気にあいさつしていますか。】

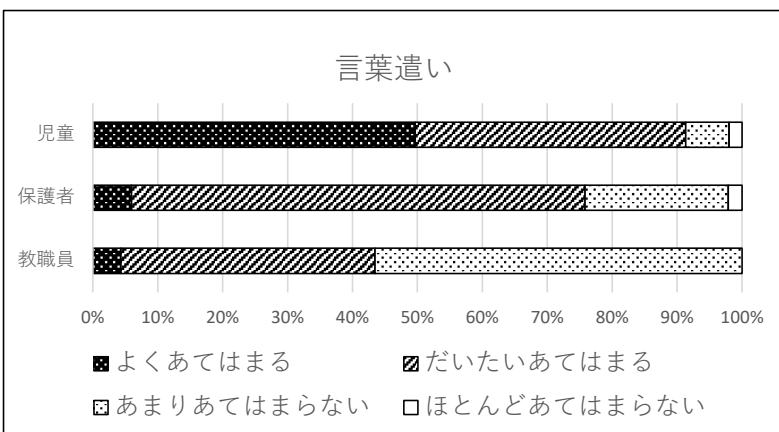
朝、教室を回って声をかけると、どの教室からも元気なあいさつが返ってきます。自分から元気にあいさつできる子どももいます。しかし、なかなか、あいさつが返ってこない子どもも実際います。

自分からあいさつできる子どもに育てたいと思っています。いつでも、どこでも、あいさつすることが当たり前で、いつでも自分からあいさつする習慣づくりを目指していきたいです。



【早寝早起き・朝ご飯・歯磨きを、きちんとしていますか？】

全体的に、睡眠時間が足りていないという傾向が見られるようです。健全な生活リズムは、朝、早く起きるところから作られると言います。早く起き、朝ご飯を食べる習慣が、夜、しっかりと睡眠時間を確保することにつながります。また、落ち着いた学校生活にもよい影響を与えます。



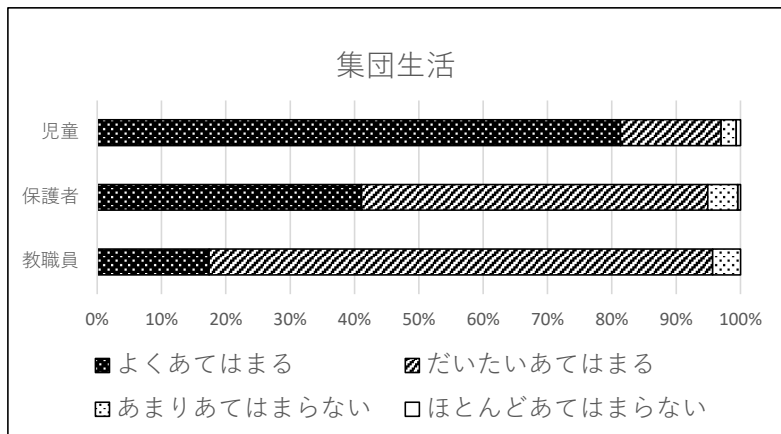
【正しい言葉遣いをしていますか？】

今回のアンケートで、一番課題としてあげられるのが、この言葉遣いです。

お家での言葉遣いが気になる保護者の方が多く、さらに、先生方も同じように感じています。耳にする言葉を、よく考えずに口にしていく様子が、多く見られるようです。それがトラブルの原因になることも多いです。

ご家庭でも、学校でも、言葉遣いについては、考えていかなければなりません。

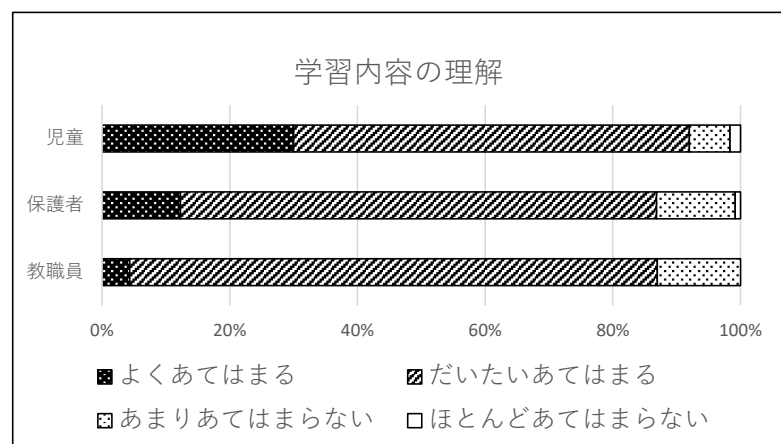
## 令和5年度 学校評価アンケート結果と考察（その2）



【学校で、友達となかよく、楽しく過ごしていますか？】

言葉使いでも触れましたが、ささいな言い合いから、どんどん関係が悪くなって、トラブルになったことが、多くありました。

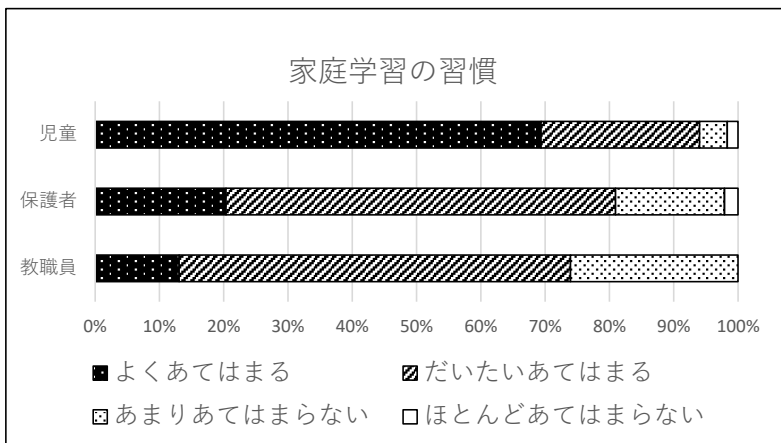
大事なのは、いじめになる前のちょっとしたからかいや遊び感覚の出来事を、見逃さず、いじめの芽を早期に摘むこと、そして、子どもたちの中に「いじめはだめ」という正義を成立させることです。



【授業の学習内容を理解していますか？】

今回も、プラス評価は、どれも80%は超えているのですが、全体的に、評価が厳しい結果となりました。

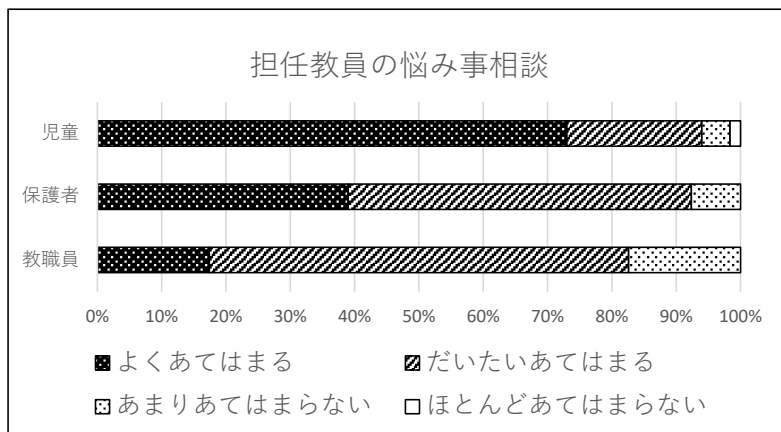
日々の授業で、概ね、子どもたちは理解していても、やはり、個別の指導が必要な状況があります。そのためには、授業自体を工夫することももちろんですが、子どもたち自身の「学ぶ意欲」を高めるような指導も必要です。教職員全体で、さらなる努力を続けていきます。



【家庭学習の習慣が身についていますか？】

児童のプラス評価と、保護者・教職員のプラス評価に、大きな差が見られます。やってはいるが、なかなか自分から取りかかれられないという実態や、取り組む内容や姿勢に課題があるようです。

例えば、漢字の書き取りは、正しい書き順で練習することが大事ですが、どうでしょうか。自分のための家庭学習として、取り組ませたいと考えます。

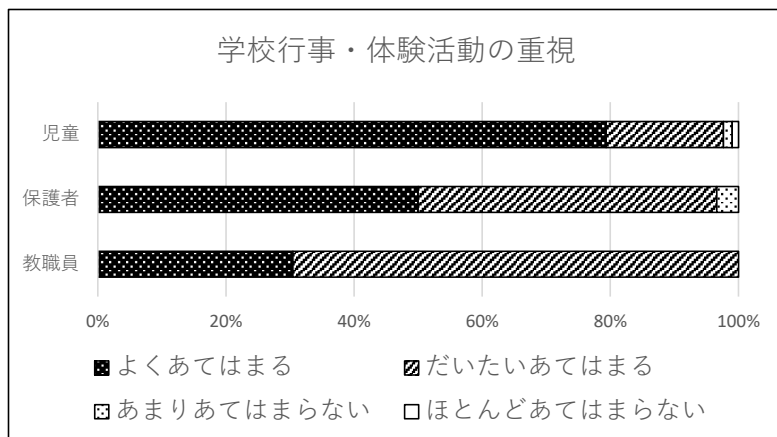


【先生は、親身になって子どもの悩みや相談にのっていますか？】

子どもにとって、話を聞いてくれる先生は、やはり必要です。まずは、そういう関係づくりを築きたいと考えています。

また、お子さんのことで、相談事があれば、担任だけでなく、担任以外の養護教諭、教務、教頭、校長も関わっています。みんなでよりよい方向になるよう、考えていきたいと思っています。どうぞ遠慮なく、声をかけていただければと思っています。

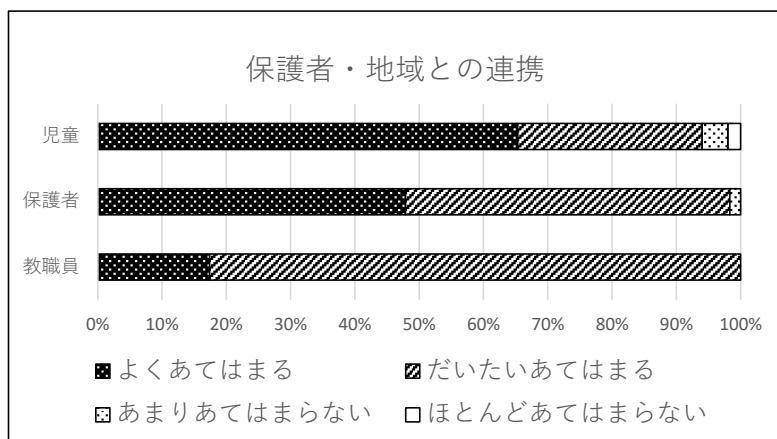
## 令和5年度 学校評価アンケート結果と考察（その3）



【学校は、満足感が得られるような行事や体験活動の工夫をしていますか？】

今年度は、コロナ対応が変わり、以前のような教育活動ができるようになったことが、結果にも表れています。

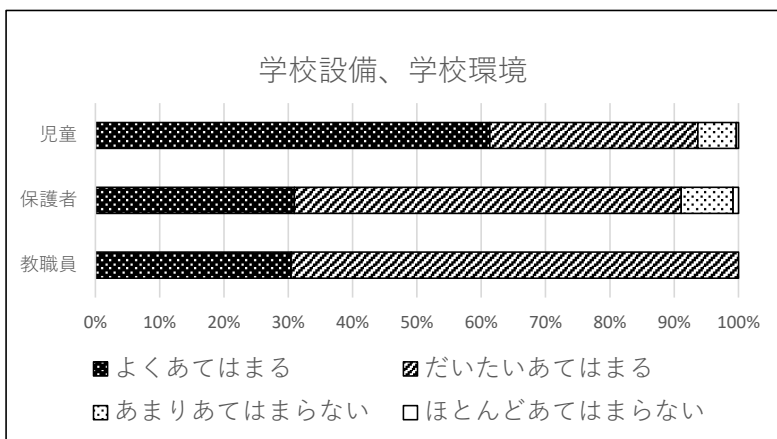
しかし、まだまだ工夫や配慮が必要なところはあと思っています。子どもたちにとって、必要な活動を、より充実できるよう、これからも、考えていきたいと思ひます。



【学校は、保護者や地域の方々の協力を得て、教育活動に効果をあげていますか？】

学校の教育活動が充実していくためには、保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご協力は欠かすことができません。

表郷小学校の教育は、表郷ならではの教育です。これからも、表郷小学校は、表郷地区の子どもたちを、表郷地区のよさを生かしながら、健やかに育てていくことを目指します。



【学校は、施設設備の点検、修繕、事故防止に十分配慮していますか？】

校舎は正直あちこち痛んできています。築40年を超える校舎ですから、当然です。それでも、子どもたちの活動が充実するよう、日々、整えながら、大事に使用しています。学校独自にはどうしてもできないことは、市の協力も受けながら、修理改善しています。それでも万全ではないことは、重々承知しております。

今後も、可能な限り、環境を整えながら、教育活動を進めていきたいと思ひます。

いかがでしたでしょうか。

全体的には、昨年同様、本校で取り組んでいる教育活動に対して、保護者の皆様のご理解ご協力をいただきながら、前へ進めることができていると思ひます。しかし、課題はあります。その課題解決を目指し、これからも「学校は、子どもたちのためにある」という揺るぎない思ひと、子どもたちが、少しでも力を付け、出来ることが増え、そして、学校生活を楽しく、充実して送れるよう、学校、家庭、地域が連携して、教育活動を充実させていきたいと思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。